

2025年度第2回理事会議事録

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

1. 招集年月日 令和7年6月3日
2. 開催日時及び場所
 - (1) 開催日時 令和7年6月24日火曜日午後6時30分
 - (2) 開催場所 文星芸大附属高校総合研修センター
3. 理事・監事数及び出席理事・監事数
 - (1) 理事数 29人
 - (2) 出席理事数 対面14人、web15人
4. 出席理事の氏名
対面 小曾戸和彦、高橋哲夫、鈴木克美、直井秀幸、荒木享、渡邊整、阿久津宏一、増渕倫巳、梶崇司、益子基久、渡邊明美、菊地宜秀、佐藤圭一、高野貴市
Web 鎌田眞吾、千村隆、渡邊諭、藤本光正、井上尉央、下島健一、佐藤昭、大平幸造、増山敬大、周藤真理子、佐藤智信、網野友雄、濱口泰志、齋藤宣子、
5. 審議事項
 - 第一号議案 R6年度収支決算報告について
 - 第二号議案 国民スポーツ大会選手選考について
 - 第三号議案 規律委員会について
 - 第四号議案 旅行会社とのスポンサー契約について
6. 議長の氏名
小曾戸和彦（会長）
7. 議事経過の要領及びその結果
会長小曾戸和彦から、本日の理事会は対面では定足数に満たないが、web参加を含めると定足数を満たしているので適法に成立する旨告げたのち、会長小曾戸和彦が議長となり審議に入った。
議長により、定款第30条第2項の規定により次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ全ての理事の一致をもって次の者が議事録署名人に選出された。
議事録署名人 渡邊 整
同 益子 基久

第一号議案

専務理事より説明

【R6年度収支決算報告について】

「財務諸表」の中で前年度より大きく変わっている点について説明いたします。

- ① 【受取会費】の「受取チーム登録料・競技者登録料」のところが、昨年度より増額となった影響で収入増となっている。
- ② 【事業収益】の「大会協賛金収益・委託料収益・入場料収益」については、昨年度開催された「天皇杯1次ラウンド・皇后杯2次ラウンドおよびWリーグ」における収入の増加によるものである。
- ③ 支出について・・・上記大会開催に伴う旅交通費の支出増とそれに伴う会場費の支出増が特にみられた。

これらのことにより、昨年度最終的な収支は、7,830,805円の黒字となった。

以上、ご審議願いたいとの説明がある。

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第二号議案

専務理事より説明

【国民スポーツ大会選手選考について】

添付資料の通り、今年度の国民スポーツ大会候補選手（案）が提出された。

なお、[成年男子]において8月16・17日に開催される関東ブロック大会に網野監督・石井監督ともにチーム体動の関係でベンチに入ることができない。そこで、関東ブロック大会でのみ、学生コーチ（C級コーチの資格を有する）2名にて指揮を執ることとする。

以上、ご審議願いたいとの説明がある。

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第三号議案

専務理事より説明

【規律委員会について】

渡邊規律委員会委員長に代わって説明します。この度、「コーチの審判員に対するスポーツマンシップに違反する行為」について本県の規律委員会が開催された。その過程において、弁護士さん等より「本協会の規律規程を見直したほうが良いのでは」とのアドバイスをいただいた。そこで、改めて見直した結果、添付資料のように改訂させていただきたい。

また、現規律委員会のメンバーとして新たに、U15 カテゴリーからS級審判員でもある若林さんを加えたいと考えている。

<益子理事>

対象者が、不服申し立てをした場合は以降どうなりますか？

<専務理事>

対象者は通知書が届いた後、所定の手続きにより不服申し立てをすることができます。その場合、その後の対応がすべてJBA裁定委員会に移行されるため、私たちの手から離れることとなります。

<梶 審判委員会委員長>

最近、中・高生の中からも上級審判員をめざしたいという方が表れている。その中で、ある県においてコーチが試合中に審判員に対してスポーツマンシップに反する行為をされ、今後の審判員活動に支障をきたすという事例が上がっている。そういう事象がないように皆さんのご協力をお願いしたい。

以上、ご審議願いたいとの説明がある。

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第四号議案

専務理事より説明

【旅行会社とのスポンサー契約について】

本協会として、今まで「旅行会社」とスポンサー契約を結んでこなかった。この度、神奈川県協会半田会長ならびに東京都協会橋本会長双方より「京王観光」とのスポンサー契約についてのお話をいただいた。本協会としても来年度より毎年開催される「天皇杯・皇后杯二次ラウンド（ブロック大会）」やその他の大きな大会に向け「旅行会社」との関係強化を模索していたところでもあるので、今後前向きに話を進めたいと考えている。

以上、ご審議願いたいとの説明がある。

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

8. 報告事項

- (1)U12・・・(佐藤圭一理事) 第45栃木県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会結果について
- (2)U18・・・(直井常務理事) 令和7年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技栃木県予選会の結果について（組み合わせ）
- (3)T0委員会・・・(菊地理事) 8月30・31日に白鷗大学で開催される「天皇杯・皇后杯一時ラウンド」において、B級T0更新講習会を実施する予定であるが、その際に同時開催として「T0基礎講習会」を実施する。この講習会は、中・高生や保護者の方を対象としており、JBAより和嶋さんを講師としてお迎えしての机上講習会+実地研修の見学を行うものとする。

(専務理事) この講習会を開催する主な目的は、以前より懸念されていた、「負けT0」とそれに伴うT0に対するベンチや観客からのバッシングを防ぐことを考えている。こういった講習会が開催されるのは全国でもおそらく珍しいと思われる。なので、こういった講習会が全国に広まっていき、子供たちによって実施されるT0技術の向上・将来においてT0に興味を持ちゆくゆくはB級以上を目指す子供の育成、そして何より、T0の後ろに立つであろう「T0主任」のレベルアップを図りたいと考えている。来年度より本県日環アリーナで開催の「天皇杯・皇后杯ブロック大会」においても、JBA・関東協会などと連携して、継続実施していければと考えている。

- (4) その他・・・(専務理事) 資料写真にもある電動式ゴールですが、今までブレックスさんで使用していたもので、かなり古いものではあります。どこかのチームもしくは体育施設などでご活用いただければとの提案がブレックスさんよりありました。どなたかご希望の方がいらっしゃったらご紹介ください。

以上ですべての議案の審議を終了したので、午後7時05分に閉会した。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名する。

2025年6月24日(火)

議 長

氏 名 小曾 和彦

議事録署名人

氏 名 渡邊 整

議事録署名人

氏 名 益子 基久